

第 77 回 JAMSNET-USA 定例会議団体活動報告

2025 年 5 月 15 日 木曜日 午後 4 時 35 分～6 時 00 分

Apple Time

2/2025-5/2025 新会員を囲んでのおしゃべり会や送別会などに加えての企画として

3 月：バウンス U-屋内のジムで親子で思いっきり体を動かして楽しむ

アップルタイムジャパン企画お話し会「高校卒業後の進路と支援」 経験談紹介

4 月：NJ ピクニック

5 月：オンラインおしゃべり会「大人になった子どもたちの日常と支援」 親たちによる情報意見交換

AADA

団体名: Asian Against Domestic Abuse, Inc .

報告期間 : 2025 年 2 月 1 日 - 2025 年 4 月 30 日

1. 研修活動

● 2/25 The Harris Center for Mental Health & IDD によるメンタルヘルスに関するスタッフトレーニング

● 3/20 How Law Enforcement Protects You & Your Children by Bringing Criminal Charge? (Criminal court system に関するスタッフトレーニング) AADA はスタッフトレーニングに力を入れており、ほぼ毎月トレーニングを開催している。

2. 広報活動・アウトリーチ

● 2/1 Lunar New Year Festival at Chinese Community Center / Lunar New Year at Asia Society 当団体が入居するビルおよびアジアソサエティが開催した旧正月イベントで AADA として ブースを出し活動内容をヒューストンのコミュニティーに広めた。

● 2/20 ヒューストン総領事公邸においての天皇誕生日お祝いイベント イベントに会場された各企業や団体関係者との顔合わせにより AADA の活動をより深く知ってもらえた上、1 月の新年会イベントでお会い出来なかつた方達への周知も出来た。

● Nowruz in Bloom (3/15), ICF Nowruz Festival (3/23) ナウルーズ（イランを中心に、ユーラシア大陸の多くの国で祝われる春の祭日）イベントに AADA としてブースを設置。お茶を振る舞うなどして集客。来場者に対する活動内容の周知につなげた。

3. その他お知らせ 4 月から日本人対応が可能な新スタッフの宮澤明音（みやざわあかね）が加わりました。日本では社会福祉士・精神保健福祉士として勤務していました。よろしくお願いいたします。

CJCAT

活動報告：未就学児と保護者の方むけの音楽とアートのクラスでは、親子の非言語を通じた関割の方法・意味を学ぶ機会を提供するとともに保護者自身のリフレクションをうながしています。絵本を使ったワークショップでは、絵や言葉が含む象徴的な意味や個人的、社会的文化的な意味とそれが私たち個々人の心理に及ぼす影響について参加者の理解を深めています。ボランティア活動をされている方向けには、活動中の気づきをシェアし、バウンダリー概念やコミュニケーションの取り方、NY の Marginalized People が置かれている状況などについて学ぶ会をファシリテートしています。JAA コーラスで代教した際は 100 年から 50 年以上前に作られた歌にまつわる場所の当時の映像と一緒にみたり、歌詞の意味や手遊びなどを通して記憶をシェアしながら、それぞれの歌い手さんがそれぞれの歌とパーソナルな関係を築き、同時に、その個人的な感情体験を、コーラス グループという集合体に昇華して表現する体験、歌い手さんたちの魂が声の音色に反映されるような時間をファシリテートしています。

もみの木

<子育て支援グループ>

- 「春休み特別親子教室」実施 4 月 8 日火曜日 17 組の親子が参加
お話会・クラフト・エッグハントを幼児向け、小学生向けに開催

- もみの木主催のいちご狩りを予定中
- バイリンガルサポートとして、日本語を話すミドル・ハイスクールの学生、11名の7年生から12年生+大学生を、日本語継承語学校（たんぽぽ学園）に派遣し、小学生、幼稚園生のボランティアとして活動してもらう。ボランティアの学生には、Student Service Hours を発行。
- もみの木図書をたんぽぽ学園に貸し出し、園児・小学生らに毎週貸し出し中
2025 年度 4 月現在 86 名に週に 4 冊貸し出し

<日向ぼっこグループ> 会員にむけての活動 対面+オンラインのハイブリッド

- 2 月「ライフスキルを身につけるために親ができること」
- 3 月「あったらいいなこんな支援」
- 4 月「アメリカの心理士さんってどんなことをするの？」
- 6 月 1 日 スペシャル BBQ を予定

<シニアサポートグループ>

- 1 月 シニアのためのお節料理を宅配 12 シニア
- 「自彊術」開催場所提供にもみの木として協力

日米ケア

2025 年 5 月 1 日

日米ケアは精神科医、臨床心理士、ソーシャルワーカー、サイコセラピストの資格を持ったメンバーが日系社会でのクライアントにニーズに対応しております。毎月メンバー間でズームオンラインのケースコンサルテーションを提供しております。精神科医のメンバーが参加する際には、向精神薬についての質疑応答もできます。日本からも出席できるような時間帯に行っています。またネットでセラピスト紹介、問い合わせにも対応しております。

Care the World (ケア・ワールド)

Care the World では海外にお住いの日本人ご家族の生活面、精神面、医療面、教育面でのサポート行っております。

メンタルヘルス カウンセラーとして・・・Couple's therapy を続けていますが、多くの couple は生活を揺さぶるような大きなできごとが伴うと助けを求めてくることに気づきます。子どもが生まれた、職を失った、子どもが病気になったなど。カウンセラーとして心がけていることは、誰が悪いと相手を攻めたり、相手を変えることに問題の焦点を当てるのではなく、今ある問題を二人の問題として捉え、どのように生活を調整したらよいかに焦点を当てることだと感じます。

海外出産・育児コンサルタントとして・・・海外での子育てのチャレンジの一つは家族、親戚のサポートに頼れないということ。夫婦二人だけで乗り越えなくてはならないたいへんさ、ストレス、持っていくようなないイライラ。それが二人の間に亀裂ともなり、さらには子どもへの影響も避けられません。子育てを楽しいと思えるようになるまでの道のりは助けを探すことから始まり、アイディアをしぼりながら、創意工夫に満ちた自分たちだけの海外子育てができるようになることと感じます。

医療通訳士としては・・・最近では不妊治療を試みる方も多く、原因も治療法もさまざまなため、不妊治療に関するセミナーに参加し、知識を重ねました。

また聴覚障害を持ったお子さんの通訳も担当しました。これは主に speech pathologist とデイケアスタッフの間の通訳でしたが、アメリカではたとえ短期滞在家族の子どもでも、障がいを持った子どもへの早期介入の手厚さを感じました。

このたびアメリカの戦争花嫁の方の体験談をインタビューする企画に通訳士として招かれました。今とは比べようのない限られた情報の社会で彼女たちの生存するための力を感じました。ここシアトルでは日系1世、2世で戦争中、強制収容所へ送られた方々もまだ生きておられ、彼らが日本人コミュニティの草分けとして活躍してきた歩みは忘れてはならないと感じます。

ノーラ・コーリ

www.caretheworld.com

https://blog.goo.ne.jp/nora_kohri

東京フロストバレーYMCA パートナーシップ

1. ファミリーキャンプ

春のファミリーキャンプをフロストバレーYMCA で開催され、日本に縁のある 4 家族が参加をした。WiFi の届かないキャビンを利用、家族の絆を深められたようだ。子ども同士もアクティビティーを通して、あっという間に仲が良くなり、キャンプファイアでは火を囲んで大人同士の会話も弾んだ。次回は紅葉の美しい秋に開催される。

日程：4月25日（金）～27日（日）

2. ティーンプログラム

東京フロストバレーYMCA パートナーシップキャンプの同窓生による、高校生を対象にしたキャリアパネルが開催された。社会人として活躍するユース世代が、進学や就職の悩みや相談に応える企画である。当日は3人の同窓生がパネラーとして参加、アメリカで育ち、現在もアメリカでキャリアを重ねている3人から、たくさんのアドバイスが語られた。質問では、「もし17歳に戻れたら何をしますか？」「エッセーは何を書きましたか？」「どうしてアメリカの大学を選んだのですか？」など興味深い質問も多かった。次回は日本で活躍している同窓生が登壇予定である。

日程：3月1日（土）

3. サマーキャンプ

・親も子も安心して参加できるようにオープンハウスを実施した。

日程：3月23日（日）・4月27日（日）

・トレーニング／スタッフ

メモリアルデーの連休を利用してこの夏サマースタッフとして参加予定の高校生、大学生を対象にしたトレーニングをフロストバレーYMCA で開催する。約25名が参加予定。企画経費補助として JAMSNET より\$350 をサポートいただけることになった。

日程：5月23日（金）～26日（月）

- ・この夏も J 1 ビザを取得して 4 名のスタッフが日本から参加する。
- ・今年は申込のペースが例年より遅く、まだ定員まで達していないキャンプがある。

4. コミュニティープログラム

- ・今年もジャパンパレードに参加をする（5月10日）

以上です。

JB Line

2025 年 2 月～2025 年 5 月

活動の 5 本柱である以下の項目を継続して行いました。

① 日英対応サポートライン ② ケースマネジメント ③ シニアサポート ④ 親子支援 ⑤ 郊外支援

【トピックス】

・親子支援 妊娠中から 0 歳児を育児中の方を対象に、「はじめての子育て日本語サポートグループ」が 1 月より始まりました。毎回設定されたテーマ（産後生活のスケジュールについて、母乳についてなど）について情報を共有し、参加者同士で話し合う時間を設けています。現在、参加登録者が 15 名おられ、毎回 5 名程が参加者されています。学童期のお子さんをお持ちの保護者向けに、オンライン「親子支援 Meet Up」を 3 月に行いました。対面の Meet Up は 5 月に郊外支援のおむすび交流会（下記）と同時開催を企画しています。

・郊外支援（おむすび交流会）ニューイングランド郊外で JB Line の活動を紹介する交流イベントを実施し、その地域の日本人を繋ぐコミュニティを生み出すことを目指しています。今回は 5 月に、メイン州ファルマスにておむすび交流会を企画しています。

・JB Line Community Event 2 月から 3 月にかけて、10 のオンラインセミナーとラッフルによるファンドレイジングイベントを開催しました。延べ 300 名近いセミナー参加申し込みがあり、盛況のうちに終了しました。

・ボストン日本祭り 4 月 26 日と 27 日の二日間、ボストンコモンで開催された日本祭

りにブースを出展しました。多くの来場者に JB Line の活動を知っていただく良い機会となりました。以上

ニューヨーク日本人教育審議会教育相談室

(2025 年 2 月～2025 年 5 月 7 日)

前回 (2025 年 2 月) 以降の活動報告をいたします。

1) 無料電話・メール相談

- 日本人学校は新学年、現地校は年度末に向かい、学校に関して学習や学校適応の相談、発達障害の疑い、Special Education System に関する問い合わせ、親子関係やしつけの問題、不登校、学校選び、学校との付き合い方が主になっています。
- 通常無料電話相談の他に、メール相談も引き続き行なっています。
- 相談者の居住地域もニューヨーク近郊にとどまらず、他州からの相談もあります。またアメリカ、日本以外の国からの相談も入ってきています。

2) 面接相談

- 基本的に相談室での面談をしています。ただ、コロナ禍で始めたオンラインの利便性も活用して With Corona の新しい在り方としてご希望によってオンラインでも行っています。

3) その他の活動

<無料個別相談>

4 月 29 日、無料オンライン個別相談を実施しました。(参加者 12 名) 各 25 分ずつの相談でしたが、疑問に答えたり情報提供も致しました。ニューヨークだけでなく他州や日本からの相談もありました。満足度が高く、「悩みを相談できてとても良い機会でした。」「子供と今後の学校生活について改めてじっくり話し合う必要があると気づかされた。」「親身になって相談に乗っていただきありがとうございました」「具体的な対策も提案していただけて参考になりました。」などの感想が寄せられています。

<ワークショップ>

・5月24日（土）にニューヨーク補習授業校で幼児部・低学年の保護者向けに「日本語が苦手なお子さんを、親としてどのようにサポートしていくか」というセミナーを計画しています。

4) 今後の活動

JCOP のグラントをいただけたので、米国在住邦人家族を対象とした「Post-COVID Asian Hate と在米邦人のメンタルヘルス」の調査研究の準備も行っています。調査結果が出ましたら、改めてご報告させていただきます。

NY de Volunteer

報告日：2025 年 5 月 8 日

報告期間：2025 年 3 月～2025 年 5 月現在

私たちはニューヨークでのボランティア活動を通じて、社会貢献の最初の一步を踏み出すきっかけを提供し、社会課題の解決に向けて自発的に考え、行動するチェンジメーカーを社会に送り出すことを目標に活動しています。

活動報告

(1) 日本語を学ぶ大学生との日本語チャットクラブ

コロンビア大学および NYU が主催する、日本語を学ぶ大学生と日本語母語話者とのチャットクラブを、今期は計 6 回（2025 年 2/28、3/19、3/28、4/10、4/25、5/5）開催しました。オンラインと対面の両方で実施し、毎回数時間で定員が埋まるほどの人気のプログラムとなっています。

(2) 3 月 29 日（土）Macomb's Library での折り紙ワークショップ

145 丁目に位置する Macomb's Bridge Library にて、折り紙ワークショップを開催しました。今回は、図書館スタッフの方より、「折り紙について、地域の人たちに紹介してほしい」とリクエストをいただいた事がきっかけで実現した活動です。当日はスタッフ 4 名がワークショップ参加者 5 名と共に、折り紙を通じて日本文化に触れるひとときを過ごしました。

(3) 4 月 8 日 (火) The Bloomingdale Family Program での折り紙ワークショップ

アッパーウエストサイドにある The Bloomingdale Family Program にて、3 歳～4 歳の子供たちと一緒に折り紙を作ってきました。当日はスタッフ 4 名とボランティア 3 名とともに、桜の折り紙を折ったり、浴衣の着付け体験を行ったりして、子どもたちに日本文化を紹介しました。

(4) 4 月 20 日 (日) 学生限定・ボランティア企画イベント

学生運営スタッフが、日本語を学ぶ学生と一緒に社会課題について話し合い、ボランティア活動の企画を考えるイベントを開催しました。日本語を学ぶ学生 1 名と NY に住む日本人学生 2 名が参加し、NY における社会課題について考え、自分たちに今できる活動について約 2 時間のディスカッションを行いました。

(5) 5 月 2 日 (金) コロンビア大学日本語クラス プロジェクト発表会

コロンビア大学の日本語クラス 4 年生の学生たちが、自身の選考や研究テーマに関する内容を、日本語でポスター形式で発表しました。日本語母語話者のボランティア 15 名が、日本語でのフィードバックや質疑応答に協力しました。

(6) 5 月 10 日 (土) Japan Parade

毎年セントラルパークウエストで開催されている、日本文化の魅力をアピールする Japan Parade のパレードにて、クリーンアップのボランティア活動を行いました。パレードの最後尾を歩き、イベントへの感謝を込めて沿道のゴミを拾い、"立つ鳥後を濁さず"という日本の大切な伝統を NY の街に伝えることができました。

公式 SNS では、ニューヨークでのボランティア活動の魅力やイベント情報を配信中！

たくさんのフォロー&いいねをお待ちしています♪

Instagram：@nydevolunteer

<https://www.instagram.com/nydevolunteer/>

Facebook：NY de Volunteer (JPN)

<https://www.facebook.com/NyDeVolunteerjpn>

JASSI (Japanese American Social Services, Inc.)

【活動報告】

■ 2025 年 4 月の主な活動

- 4 月 1 日より、在外 DV 被害者支援業務を受託。
- MUFG 銀行および社員の皆様のご協力のもと、「JASSI Report」をシニア会員の皆様へ郵送。

■ 2025 年 5 月の主な活動

- 5 月 1 日（木）：JAA 主催「春のヘルスフェア」にて、NY 州公的医療保険オンライン・セミナーを開催。
→ 保険の種類、内容、加入資格など、健康保険に関する基本情報を説明。

■ 現在継続中のプログラム

- Hotline Program（Health Navigator Program 含む）
- Senior Program（Caregiver Program 含む）
- Community Outreach Program
- Fundraising Program

【今後の予定】

- 継続実施：
 - 対面茶話会：毎月第 2 月曜日に開催
 - リモート茶話会：毎週月曜日に開催（第 2 月曜日を除く）
- 新規実施予定：
 - 5 月 16 日（金）：IT なんでも相談室 開始（JASSI シニアメンバー限定）
 - 10 月 9 日（木）：JASSI 創立 44 周年記念ベネフィット・ディナー開催予定

フィラデルフィア日本人会

77 回定例会活動報告 5/2025

1. 2025 年新年会 1 月 19 日に、The Drexelbrook にて開催された。当日は雪の影響ありましたが、お申込みされた全員近くの皆様が参加された。また、森和也在ニューヨーク日本国総領事館首席領事による新年会ご挨拶と、日本酒での乾杯で華やかに幕を開けた。最後は船木会長による三本締めで締めくくられた。

2. 和の交流シニアコミッティによる英語茶話会 第2回英語シニア茶話会は、2月26日（水）午前10時よりメンバー7名参加のもと Zoom にて行われました。テーマは「参加者から日頃趣味なり練習している音楽演奏、歌唱、朗読などを Zoom で披露する」でした。ショートジョーク、心のこもったギターとコンボのアンサンブル、才能あふれるボーカリストによる美しい歌声、そしてディズニーの白雪姫の魔女のキャラクターのものまねなどが披露されました。

3. 和の交流シニアコミッティによる英語茶話会 第3回英語シニア茶話会は、3月19日（水）午前10時よりメンバー6名参加のもと Zoom にて行われました。テーマは「William Han さんのバイオリン協奏と音楽がメンバーの人生にどう関わってきたか」でした。

4. 2025 スバル桜祭り 4月5日（土）・6日（日）に Fairmont Park で開催された 2025 スバル桜祭りにて、当会は コロナ禍以来久しぶりにブースを出展しました。限られた準備期間での実施ではありましたが、多くの来場者にお越しいただき、大盛況の2日間となりました。

特に人気だったのは折り紙体験で、お子さんから大人まで多くの方が「鶴」や「かぶと」などの日本の伝統文化に触れることができました。新聞紙で作ったかぶとに名前を書く体験も非常に好評で、カタカナや漢字で名前を書いて差し上げると、とても喜んでいただけました。また、日曜日にはコーラス部によるパフォーマンスも行われ、会場全体が和やかな雰囲気に包まれました。

5. 起業実務入門&出入国・在留情報」セミナー 6月上旬開催予定の「起業実務入門&出入国・在留情報」セミナーに向け、セミナーコミッティメンバーが準備中。

6. 第24回東和エッセイコンテスト準備開始 5月下旬に募集開始を予定している「第24回東和エッセイコンテスト」に向けて、東和エッセイコミッティメンバーによる準備が始まりました。例年同様、在ニューヨーク日本国総領事館、講談社 USA パブリッシング社、フィラデルフィア日米協会、浅倉澄子様に後援・協賛をお願いし、その後、募集を開始いたします。応募締切は8月31日を予定しており、集まった作品は、12名の審査員による審査を経て選考されます。

ニューヨーク邦人メンタルヘルスネットワーク活動報告

報告日：2025 年 5 月 8 日 前回定例会（2025 年 2 月）からの活動報告

メーリングリストによるメンバー同士の情報交換を常時行っています。メンバー各々の専門分野での有益なウェビナーや文献などの情報、リファーマル情報、日本の事情など、様々な情報を共有しています。

JAMSNET ホームページの「COVID-19 パンデミック中の心のケア」での無料メール・電話相談を引き続き行なっています。子どもに関する相談は NY 日本人教育審議会教育相談室でバーンズと森が、DV に関する相談は WOMAN KIND の永尾氏が、それ以外の大人の相談は他のメンタルヘルスネットワーク有志で受け付けています。

会合

ニューヨーク邦人メンタルヘルスネットワークの会合は前回の報告以降ありませんでした。

6 月に JAMNET ワールド邦人メンタルヘルスネットワークの第一回オンライン会合を予定しています。

メンバーによる主な活動

4 月 12 日（土）

サクラ・ヘルスフェア・イベント

＜思春期の子供達への対応＞「行動言動からの危険信号の早期キャッチ」

講師：宮本ボーグ麗 Clinical social worker

青少年の精神的な悩みは行動に表れやすいです。周りの大人が早く気づいて対応できるよう情報を提供しました。

4月29日（火）

<オンライン無料個別相談>

相談員：バーンズ静子 School psychologist、森真佐子 Clinical psychologist

無料オンライン個別相談を実施しました。（参加者 12 名）各 25 分ずつの相談でしたが、海外での子育て、発達、心のケアに関して疑問に答えたり、情報提供もしました。NY 以外の州や日本からの相談もありました。満足度が高く、「子供と今後の学校生活について改めてじっくり話し合う必要があると気づかされた。」「親身になって相談に乗っていただき感謝している」「具体的な対策も提案していただけて参考になった。」などの感想が寄せられました。

福島県の遠方支援

前回からの報告は特にありません。

LTSC（リトル東京サービスセンター社会福祉部）

活動報告に関しましては、添付の社会福祉部ニュースレターをご参照いただければ幸いです。

https://www.ltsc.org/wp-content/uploads/2025/04/LTSC_Spring_SocialServices_Newsletter_Final.pdf

また、今年初めに制作した社会福祉部の PSA 動画のリンクも添付いたします。

社会福祉部：https://youtu.be/fzl-KKcK1g8?si=FPU_6TAlqiBl8jmY

子どもと家族支援プログラム：<https://youtu.be/jLUkcTLKn-0?si=e-2YXxuGV29yDOGP>

ニューヨーク日系人会/JAA

2025年3月－5月日

1. 毎月の定期法律相談室（移民法、相続・遺言、諸問題）は電話相談で継続。日々の相談やヘルプを随時行っています。グリーンカードの Renewal、米国籍の方への日本の年金証明作成、ソーシャルセキュリティーベネフィット申請手続き等
2. シニアへのお食事会/敬老会を2025年3月13日&27日、4月10日 & 24日と5月8日&22日開催。会場での会食とピックアップ・デリバリーで、毎回110個－130個のお弁当を用意しています。健康のお話、正しい姿勢の取り方、OMNY の使い方講演会、日本語の懐かしい歌や 毎月のお誕生会を楽しんでいます。
3. JAA ホールでのカルチャークラス（太極拳、書道、茶道、JAA コーラス）を毎週、そして、アップルキッズ主催の就学前の子供を対象にしたアートと音楽のクラスを灘田篤子さん指導で毎月1回行っています。5月4日に「子供の日」として、剣道と空手のデモンストレーション、子供と JAZZ、兜やこいのぼりの折り紙を楽しみました。
4. 第17回さくら・ヘルスフェアを NY 総領事館、医師会、JAMSNET の後援で、4月4日から5月4日の間、「健康で安心して生活を過ごすためには」のもと、全年齢を対象にした約50プログラムを組み、2000人以上の参加者がありました。今回も医師会主催の「子供のためのライス・サイエンス・フォーラム」と JAA アップルキッズ主催の「子供の日をみんなで祝おう！」は好評でした。
5. 5月10日の JAPAN PARADE に参加します。
6. 5月15日－5月31日まで、第29回 JAA ニューヨークで活躍する日本・日系人美術家展を開催予定。
7. 5月26日は、ニューヨーク日系人会の前身である日本共済会が1912年に購入した日本人墓地（Mt. Olivet Cemetery 内）で墓参会を行います。戦争中も墓参会をしたそうです。
8. 大学に進学する日本人・日系人学生を対象にした JAA ジェネラル奨学金の募集を5月5日まで行い、28人の奨学生が応募しました。総額8万4500ドル奨学金と

2 個の航空券が 1 5 人の学生に、5 月 2 9 日の第 5 5 回 JAA 奨学金晩餐会で授与します。

Womankind

May 2025

2 0 2 5 年のトランプ政権以後、新政権下の方向性により Womankind およびクライアントにとって年初より様々な困難が経験されています。政府助成金が必要な運営資金源となっている非営利団体では、これまで通り運営形態を保てるのかなどの問題も出てきております。また移民に対する取り締まりが特に強化されている状況で、移民に対する支援を強みにしている Womankind が今後 ICE などからどのような介入を受けるのかなども懸念事項として挙がっている。今年はこのような状況も踏まえ、積極的な広報活動やコミュニティ向け活動を若干縮小、内容変更して提供していく予定でおります。しかしながら、メインであるクライアント向け支援に関してはこれまで通り活動を続けます。

今年の活動の変更点：

- Visitor pass の利用を開始
ICE などの法執行機関が一般人を装ってオフィスに来ることを防ぐ為、クライアントに対してアポイントメント毎にデジタルパスを発行する。
- Walk-in client への対応
引き続き予約なく、初めてオフィスを訪れる人への対応は続けるが、ドア越しの質問などをルーティン化して、安易に外部者を招かない努力をする
- アウトリーチ（広報活動）縮小
政治的な状況を考え、安全ではない場にはアウトリーチを行うことを控える、あるいは延期する。

業務自体は通常通りの営業となります。

以上



OTA 活動報告書 2025年3月～5月

年月日	場所	イベント内容	主催者/後援/協力	備考	Details & Reflection
1 3月8日 12:00-13:00	対面+オンライン・ミーティング	Origami as Psychotherapy Therapy	OTA インド	指導: Santrupthy Das, 折り紙アーティスト、建築家、教育者、デザイナー Aakriti Vachhani, 心理学者	OTAインド 立ち上げ記念
3月 22日 9:00-9:40	オンライン	月例ワークショップ	OTA USA	指導: Santrupthy Das, Ping Rong Chen(台湾)	折り紙モデル: 三日月、アンパオ (Red envelop folding)で折る新年の縁起猫
2 4月14日(木) 10:30-12:30+	ハイブリッド方式	サクラヘルスフェア参加:世代間交流 折り紙を楽しみましょう	OTA USA、日系人会	指導:小林利子、他OTAインストラクター3名、オンラインインストラクター: Rochelle Mazze(サウスカロライナ) & Santrupthy Das(インド)	折り紙モデル: ヨット、世界一周リース、タンブラー、ドキドキハート、犬
5月2日	オンライン	ミーティング		小林利子、Ping Rong Chen	OTA台湾立ち上げ予備ミーティング
5月4日	オンライン	第4年度折り紙セラピー卒業式	Origami Society Nigeria	小林利子参列	
5月10日(土) 11:00-17:00	対面	Japan Parade & Street Fair	OTA USA	Yuriko Yamaki Toshiko Okada Sheng-Hung Wang Rina Hayashi Emi Tsuchiya Emiko Furuya-Coetes Aiko Furuya-Coetes Eunhong Park(プロジェクト・マネージャー) Toshiko Kobayashi Yuka Tanikawa (テント・マネージャー)	折り紙には適していない突風にもかかわらず、100人以上の人々がOTA折り紙テントを訪れました。日本の広島・長崎平和イベントのために、鳩、ハート、スパイラル(世界一周)を寄付しました。

YM Medical Network

May, 2025

団体の活動としては、ご報告出来るものはございませんが、現メンバーは各自の本業で日系コミュニティに

貢献している状況です。特に、メンタルヘルスのニーズは引き続き高く、リモートセラピーで、アクセスが容易にもなり、カウンセラーの皆さんは忙しくしています。また、就学児や未就学児を持つ保護者の方々も、NYC の学校事情や個々の学校の対応からのストレスが高く、ピアカウンセリングなどの需要が高い現状です。

YM Medical Network

May, 2025

団体の活動としては、ご報告出来るものはございませんが、現メンバーは各自の本業で日系コミュニティに貢献している状況です。特に、メンタルヘルスのニーズは引き続き高く、リモートセラピーで、アクセスが容易にもなり、カウンセラーの皆さんは忙しくしています。また、就学児や未就学児を持つ保護者の方々も、NYC の学校事情や個々の学校の対応からのストレスが高く、ピアカウンセリングなどの需要が高い現状です。

ニューヨークすくすく会・お茶会

(2025 年 1 月～2025 年 5 月分)

すくすく会主催(2025 年 1 月～)

2025 年(4 月 13 日) 妊婦さんとパートナーのためのプリママ講座 Zoom ウェビナー
Sakura health

産婦人科医からは妊娠から出産への流れやアドバイスを、小児科医からは出産後について、助産師・授乳コンサルタントからは母子ともに幸せに過ごせる母乳育児の方法等について講義

場所：Zoom

講師：Dr.Maki Kano, Dr,Mio Sawai, Hiromi Shimba CNM

参加者：20 名

2025 年 5 月 4 日(日) 心肺蘇生法ワークショップ JAA ホールにて Sakura Health
対面にて成人と子供の心肺蘇生法、喉に物を詰まらせた場合の対処法についての講座を
開催。

場所：JAA

講師：Dr.Maki Kano, Dr,Mio Sawai, Dr.Kana Chin, Rina Hayashi, Mariko Yoo

参加者：親子 10 組 26 名

2025 年 4 月 28 日(日) NY Kids Life Science Foun JAA ホールにて Sakura
Health, JMSA。

JMSA 主催キッズにサイエンスの楽しさを知ってもらうための人気企画がパンデミック
での休止を経て今年再開しました！研究者や医学生、高校生などもボランティアに加え
定員オーバーの大盛況の会となった。

「お茶会」

「第 26 回すくすくお茶会～親子リトミック」

日時：2024 年 1 月 29 日月曜日 10am～11:30am

場所：Central Park Dance Studio (Scarsdale)

講師：ピアノ講師-渡辺よしこ

参加者：親子 12 組 25 名(双子 1 組)

「第 27 回すくすくお茶会～親子リトミック」

親子リトミック&看護師との子育て相談会

(Mommy and Me Music Class and Parenting Get-Together)

Instructors: Yoshiko Watanabe (Music Teacher), Yumi Mori (Nurse), Rina Hayashi
(Support)

Date: Monday, April 7th

Time: 9:45 AM - 10:45 AM (Space reservation time: 9:30 AM - 11:00 AM)

Fee: Free

Participant: 17

「第 28 回すくすくお茶会 ～Picnic～」 in-person event

日時:2024 年 5 月 5 日

講師:林里奈 (ベビーマッサージ講師)

吉岡真理子 (フィットネストレーナー)

場所: Saxon Woods Park, White Plains, NY

「すくすくスモールお茶会」 in-person event

助産師による託児付きお菓子教室＋小児科看護師による家庭内での事故予防についての講義。

第 1 回 5 月 8 日

講師:Yuriko (パティシエ)、山崎三奈子 (小児科看護師 (日本))

参加者:親子 5 組

場所:Les Confiseries de YURIKO 講師宅 (Westchester)

今後の予定

「すくすく会主催」

2025 年 11 月 Webinar “小児ワクチンのお話、アップデート” by 加納真紀医師

2025 9 月 26 日 Dr.Matsuura Pediatrician, Fellow of Pediatric Development

「お茶会」

「第 28 回すくすくお茶会 ～Picnic～」 in-person event

日時:2025 年 6 月 5 日

講師:林里奈 (ベビーマッサージ講師)

吉岡真理子（フィットネストレーナー）

場所: Saxon Woods Park, White Plains, NY

2025 年 10 月 23 日 第 30 回すくすくお茶会～Halloween おやこ運動会」 in-person event

場所：JAA ホールにて

講師:林里奈（ベビーマッサージ講師）

吉岡真理子（フィットネストレーナー）

助産師主催「無料育児・母乳相談」

予約制・無料の個別相談事業。助産師が本帰国後、基本はメールでの相談や臨床医、ラクテーションコンサルタントへの紹介を行っています。

APICHA Community Center

1. On 3.15. 25, APICHA invited legal advisors in the community and hold the informationseminar, “You Deserve to know you immigration Rights” at APICHA Community Health Center Jackson Heights (82-11 37 th Avenue, Jackosn Heights. About 50 people attended.

(Please refer to flyer)

2. On 4.13.25, APICHA participated Community Event to celebrate at Songkran Thai waterfestival at Wat Buddha Thai Thavon Vanran temple at 7616 46th Ave, Elmhurst, NY11373.

APICHA staff members converse with Queens community members and provided them with medical resources, such as health insurance information or family medical services at APICHA Jackson Heights Community Health Center offers.

Sanctuary for Familie

引き続き hybrid にてカウンセリングや法律相談をはじめ様々なサービスを提供。the BxFJC(Bronx Family Justice Center)にあるオフィスでは3月初旬より週一でサポートグループ(Common Threads Project)を開催。現在6月末まで毎週開催予定。これは刺しゅう、そしてその他のアート、治療的なゲームや簡単な体操、トラウマに関する心理教育などを盛り込んでトラウマからのヒーリングを図るもの。今回のグループは英語にて開催。

以上 22 団体から報告